



新年増大号

日の出が導くJR日立新駅舎

CONTENTS

■年頭所感 2~7	■国・県・市のコーナー 22
■紙上名刺交換 8~14	■ベストセラー/熟語の達人 23
■新春特集：7部会長座談会 15~17	■事務局紹介 24~25
■新年名刺交換会 20	■協賛広告 26~34
■講演会のご案内 21	



発行所 ●日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2 発行人 ●矢口光男

購読料 ●200円 (購読料は会費の中に含まれています)

TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <http://www.hitachicci.or.jp/>



頼りになる

商工会議所を目指して



日立商工会議所

会頭 秋山光伯

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

会員事業所の皆様とともに平成24年の新春を迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。平素は、当所運営全般に

心より感謝申し上げます。さて、昨年、3月に発生しました東日本大震災では、当地域におきましてもインフラ面や産業面で甚大な被害が生じるなど、かつてない深刻な事態となりました。

また、国内外の諸問題とあわせ、原発事故に起因する消費低迷や電力供給不安に加えて、急激な円高など、地域経済に直接影響する問題も山積しました。こうした状況の中にあつて、昨年、

当所では被災した会員事業所の事業継続と経営安定に対する支援を中心に、地域活性化のための事業に取り組んでまいりました。

部の会員事業所を中心に現地を訪問し、被害とともに関係先への支援要望等についてヒアリングを行いました。原発事故が深刻化するなか、6月には中小企業における直接・間接被害の状

況把握のため、管内の中小事業所を対象に営業状況、店舗・設備等の被害および復旧に要する費用、売上の減少、風評被害等についての調査を実施しました。これらの調査結果を報告書にまとめ、日立市並びに関係機関と連携し、中小企業への経営支援や原発事故損害賠償等について、国・県、関係企業へ支援要望を行いました。また、あわせて震災に関する特別相談窓口を開設し、会員事業所等の震災復旧や経営安定化へ向けての支援に全力で取り組みました。

同時に、震災後の過度の自粛や買い控えで沈滞した地域を元気づけようと、5月の「日立市復興支援チャリティー元氣祭り」開催を皮切りに、首都圏で開催された物産展等へ出展し、地元商品等の展示・販売を行

つたほか、8月には多賀地区において第7回ドリנקラリーを開催し、地域の賑わいづくりを支援しました。このほか、11月から商業やサービス業の活性化を目的に「日立市スーパープレミアム買物券」を日立市の支援を受けて発行し、中小小売業等の売上げ機会の増大を図りました。

こうしたなか、昨年は震災の影響等で、節目の50回を迎えていた「日立さくらまつり」をはじめ、恒例の「ひたち国際大道芸」、日立駅舎完成を記念した「スタンプラリー」や「グルメラリー」など、賑わいづくりのための一連の事業を中止せざるを得ませんでした。本年、部会や委員会事業の目玉として、復興への新たな想いも含めて、実施したいと考えております。特に日立駅舎に関しましては、

現在、関連施設として土産物売り場などが入居する情報センターと多目的ホールの整備が始まりましたが、賑わいづくりの拠点施設として、周辺整備等の完成を待つて、イベント等を開催して参りたいと存じます。また、北関東自動車道の全線開通や茨城港日立港区の取扱量拡大、さらには茨城空港の利用便数の増加、自動車メーカーの県内への工場新設など、当市地域振興への足掛かりとなると思われる話題も多く、これらを活用した事業につきましても、実施を模索したいと存じます。

一方、昨年は、地域企業の経営環境につきましては、事業継続をも脅かす大変な一年であったと思われま

方で事業の縮小や休止・廃業を余儀なくされた企業も少なくありませんでした。そうしたことから、会員事業所の経営安定や持続的発展への支援を中心として、地域活性化に向けた新規創業や経営革新への支援事業につきましても、強化・実施したいと考えております。

震災から10ヶ月あまりが経過した今日、本格的な復興への取り組みは緒に就いたばかりと認識しておりますが、この間、会員事業所はじめ各方面から、震災復旧や地域振興に対する心強いご支援を多数いただきました。また、この度の震災にあたりましては、日本商工会議所はじめ各地商工会議所、友好諸団体、関係の皆様方から、心温まる激励ご支援をいただきました。あわただしく不安な日々で

ありましたが、会員事業所はじめ関係各位との信頼や連携は、より強固なものになったと実感しております。当所といたしましては、地域総合経済団体としての役割を改めて認識し、産業活性化とともに、会員事業所の方々はじめ地域の皆様から真に頼りになる商工会議所として、身近な施策を中心に進めてまいりますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、会員各位並びに関係者皆様の益々のご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。





年頭所感

平成24年の新春にあたり、謹んでごあいさつを申しあげます。本年が東日本大震災からの本格的な復興と日本経済再生に向けて、力強く前進する一年であることを心から祈念いたします。

全力を挙げて

震災からの復興を

昨年、わが国は未曾有の大災害に見舞われました。震災から約10カ月を経て、被災地の環境は徐々に改善されつつありますが、復興は緒に就いたばかりであり、地域経済や雇用を支える中堅・中小企業の業績回復も途上の段階にあります。また福島県では、原発事故によりいまなお深刻な状態が続いています。

中小企業の活力強化を

成長戦略の柱に

注してまいります。国内外の経済環境は予断を許さない状況にあります。欧州では財政問題が金融市場、さらには実体経済に影響を及ぼす負の連鎖が懸念され、米国では緩やかな景気回復が続いているものの、財政問題もあり先行きには不透明感が牽引されてきた新興国にも減速感が見られます。また、世界経済を牽引する超円高局面の継続やエネルギーの供給制約さらにはタイ洪水被害による影響などで企業は苦境に立たされており、産業空洞化の進展が強く懸念されています。



総力を結集し

震災からの復興と日本経済再生を

日本商工会議所会頭 岡村 正

積極的な国際展開を

グローバル化が加速する中、日本経済成長のためには、アジアとともに成長することが不可欠です。中小企業も積極的な国際展開が重要であり、商工会議所はこれまで以上に国内外の政府関連機関などとの連携を密にしながらサポート態勢を強化してまいります。一方、円高などにより海外移転を余儀なくされ、空洞化が進む状況は何としても防がなければなりません。国際的な立地競争力を高め、国内企業のみならず海外企業からも魅力ある投資環境が整備されるよう取り組んでまいります。

結により中小企業の国際展開を強力に後押しすることが期待されますが、同時に高いレベルの経済連携と両立できる強い農林漁業の実現と、地域経済対策の確実な実行が必要です。交渉では影響を極小化しつつ、守るべきものはしっかりと主張して国益の最大化を図らなければなりません。政府には強い交渉力を発揮できるように万全の態勢で臨むことを求めるとともに、商工会議所としても農商連携などによる6次産業化や輸出促進、観光振興などを含めた地域活性化に一層取り組んでまいります。

日本再生に向けて

勇気と希望を

東日本大震災は国民生活や日本経済に深い傷跡を残しながらも、日本人の行動力、絆の深さをあらためて示すことになりました。これからは国民が絆と連帯の精神で一丸となって、本格的な復興と日本経済再生を果たしていかなければなりません。商工会議所は昨年、2020年オリンピック・パラリンピック招致実現に向けて全面的に支援することを表明しましたが、これが国民の心を奮い立たせ夢を持つような「共通の目標」となることを期待しており、積極的に活動を展開してまいります。

130年を超える商工会議所の長い歴史を振り返れば、創設者・渋沢栄一翁をはじめとする先達は叡智や力を結集し、イノベーションによって幾多の困難を乗り越えてきました。わが国は戦後最大の危機を迎えていると言っても過言ではありませんが、現代を生きる私たちもこの困難に打ち勝つ底力を有していると確信しています。

辰年は「動いて伸びる年」とされます。日本商工会議所は、直面する厳しい状況を打開し、持続可能な経済成長を実現するため、各地の商工会議所との連携をこれまで以上に緊密にし、会員企業の皆さまとともに前進していく決意であります。皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



年頭所感

2012年の新春を皆様とともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。



「生活未来都市・ひたち」

「知恵と自然が響き合い、くらしを明日につなぐまち」

日立市長 吉成 明

日頃から、秋山会頭をはじめ、会議所会員の皆様には、市政各般にわたり温かいご支援、ご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

昨年3月に起きた東日本大震災から10か月が経ち、市内の復旧作業もかなり進んでいられるものの、各企業におかれましては、原発事故に関連した風評被害への懸念も含め、大変な努力を強いられていることと拝察

いたします。

現在、本市は昨年9月に策定した日立市震災復興計画に基づき、復興に向けた各種施策に全力で取り組んでおります。

復興計画では、計画期間を平成25年度までの3年間とし、次の4つを目標として掲げ、速やかな復旧復興を図ることとしております。
(1) 市民生活の早期再建(被災者に対する各種生活支援など)

(2) 公共施設の復旧復興(被災した福祉、教育施設、庁舎などの復旧復興)

(3) 災害に強いまちづくりの実現(情報通信体制や避難所運営の強化、原子力災害への対応など)

(4) 活力ある「未来都市ひたち」の創造(国道6号日立バイパスの南伸や茨城港日立港区など根幹的インフラの整備促進)

特に、未来に向けた施策の主なものとして、市民生活の向上と経済産業活動の活性化を図るため、旭町以南の海岸部に計画されている国道6号日立バイパスの早期事業化、国道6号及び国道245号の拡幅を促進するとともに、主要幹線道

路を補完する道路整備を推進してまいりたいと考えております。

また、茨城港日立港区については、今後も完成自動車輸出入港としての更なる機能拡大を図るとともに、第3埠頭や沖防波堤の整備、耐震強化岸壁の整備を促進し、災害時の物流ルートの確保を図ってまいりたいと考えております。

さらに、今年の夏には日立駅周辺地区整備事業が完了いたしますので、これを機に日立駅を中心とするまちの賑わいづくりに取り組み、地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。
このほか本市では、新た

な日立市総合計画(平成24年度から10年間)の策定事務を進めており、昨年12月には計画の基本構想部分をまとめ、この中で、本市が目指す将来都市像を「生活未来都市・ひたち」く知恵と自然が響き合い、くらし

を明日につなぐまちとしました。今春には総合計画を策定し、新しい計画に基づき、まちづくりを進めてまいりますので、引き続き皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして、さらに実り多き一年でありますとともに、日立商工会議所のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。



年頭所感

平成二十四年の新春を迎え、
謹んでお喜び申し上げます。



地域の絆を

日立市十王商工会 会長 和田芳信

平素より日立商工会議所の皆様には、ご支援ご協力をいただき、お礼と感謝を申し上げます。

また、商工会も共催しております日立市プレミアム買物券につきましても、多くの会員事業所の皆様にご協力いただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災とそれに続く福島第一原子力発電所事故、また、一ドル七十円台に達した円高

による景気低迷により、私たちの日立市も多大な影響を被りました。

商工会としましても、地域の事業所様へ支援をさせていただきます。厳しい状況が続いておりますが、震災、風評被害、景気低迷、こういう時こそ地域に住む者どうしの絆を大切に、智恵を出し合い、助け合い、何とか乗り切つて行こうではありませんか。

商工会では、地域振興の

一環として、ポポー(果実)を中心とした特産品開発を行っております。日立市の特産品として、昨年も県外も含め、各地のイベント、鹿島アントラーズの試合会場、歌手のコンサート会場等で販売を行い、併せて日立のPRを行ってまいりました。現在、市内でも十王物産センターの鵜喜鵜喜(うきうき)や鵜の岬温泉、鵜来(うらら)の湯などで、開発しましたアイスクリームやワインを販売しております。新たな特産品で、地域を活性化させ、雇用の場を作り、活気ある街にするべく活動しております。

また、今年引き続き、

原子力事故における事業所様の対応への支援、上部機関を通じての関係方面への支援・補償要請、震災による控除関係を中心とした税務申告への支援に万全を期して行き、地域へ貢献していく方針です。

今年も商工会議所の皆様や地域の皆様のご協力をいただきながら、活気ある街づくりに貢献できるように、役員員一丸となって頑張つてまいります。

最後になりましたが、商工会議所会員の皆様、地域の皆様の良い年になりますことをご祈念し、新年のご挨拶と致します。





副会頭年頭所感

副会頭 岩田 秀邦



新年あけましておめでとうございませう。昨年未曽有の大震災から1

日でも早く元氣を取り戻して行くことと、私どもは多くの皆様のご協力のもと、数々の事業を手がけて参りました。春恒例のさくらまつりや国際大道芸の中止決定から心機一転、力を結集した「復興支援チャリティ一元氣祭り」をはじめとするイベントや土産品推奨店や地域ブランド認定品を都内で開かれた復興市や応援フェアに出店、販売・PRするなどありました。

しかし重要なことは、地元の景氣が活気づき、それが持続して行くことだと思ひます。3億3千万円発行の「スーパープレミアム買物券事業」も頑張つて展開中でありませう。

国際的にも国内地方経済も、先行きの見通しがつかない状況が永く続いておりましたが、一時も手をこまねていることはできません。

本年も皆さんと力を合わせ、実り豊かで明るい年でありませうよう祈念申し上げます。

副会頭 友部 英一



会員の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から、当所事業運営につ

きまして、絶大なるご理解とご尽力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、景況感の戻りを感じつつ迎えた新年から一変、東日本大震災や原発事故などにより、私たち経営者にとっては大激動の年でした。そしてこれらの事故から、辛い一時期を味わった反面、様々な教訓を学び、更に成長に結びつけようと努力なされていく事と思ひます。

これからの中小企業は、「強い中小企業」になるための努力と連携が必要だと思ひます。幸い当市には産業支援機関や大学、世界屈指の企業群があり、環境は充実しています。それぞれの機関や企業との連携で、新製品や新技術を産もうとする皆さんの努力を、商工会議所は支援したいと考えています。強い企業になるためのステップを、自分のビジネスにもう一段上れる力をつけるために、一緒に考えていければと思ひます。

最後に、大震災からのご労苦を癒され、新しい年の更なるご発展をご期待申し上げます。

副会頭 佐渡 淳三



平成24年の新春を迎え謹んでお喜び申し上げます。

会員の皆様には平素より会議所運営全般にわたり、ご支援ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

昨年はリーマンショックからまだ完全には回復できない日本経済を、千年に一度という3.11東日本大震災という未曾有の

大災害が襲いました。津波、原発事故とまさに日本が経験したこともないような大災害でした。経済に於いては震災被害以外にも、過度の自粛ムード、風評被害による影響により地域経済は著しく停滞しました。特に農林水産に於いては風評被害が顕著になり、それに伴って観光業やサービス業等にも影響が及びました。

商業、観光観音部会に於いては、これを払拭する為に5月に日立市復興支援チャリティ一元氣祭りを、8月には第7回多賀地区ドリントラックラリー、11月からは日立市スーパープレミアム買物券を発行し地域社会活性化の活動を行いました。

本年度はこの不況を払拭すべく農工商連携による地域資源の掘りおこしと活用、地域ブランドの発信、地産地消への取り組みを推進していきたいと思ひます。また、さくら祭りや日立風流物、日立ふるさと検定を利用して観光めぐりなど地域が一体となつて観光振興に取り組んでいきたいと思ひますので、会員の皆様を絶大なるご支援、ご協力の程をお願い致します。

副会頭 大山 敬次



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新年にあたり一言ご挨拶を申し上げます。平素は商工会議所

運営全般にわたり、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて私は、昨年7月の通常議員総会において、副会頭に選任されました。会員の皆様のご支援をいただきますので、ご指導ご鞭撻をよろしく願ひします。

昨年は、リーマンショックから徐々に回復傾向にあった中、東日本大震災、欧州の経済危機などの影響により、我々を取り巻く環境は一変し、全く予断を許さない状況が続いております。我々金融機関においては平成21年12月から「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」いわゆる金融円滑化法が施行され、金融機関による十分なコンサルティング機能の発揮等により、地域経済の活性化等に貢献できるよう、従前以上に円滑な金融仲介の役割を果たしていくことが求められております。今年もこうした役割を念頭におきながら、円滑な金融仲介の役割を果たしていく所存であります。

さて、今年の干支は辰です。辰という字は、理想に向かつて辛抱強く努力し、困難と闘いながら人生を進んでいくという意味があるそうです。また辰は「竜」の干支で、奮い立つエネルギーの象徴として吉兆を表す架空の動物の竜にもなぞられています。今年こそは昇り竜のごとく、ますます理想に向かつて辛抱強く努力し、困難と闘いながら明るく素直に前に進んでいく年にしていきたいと思っております。

皆様にとりまして、今年がより良き年でありませう心から祈念いたしました。私からの新年のご挨拶とさせていただきます。